

1 計画策定検討の背景・必要性

- ・人口減少と超高齢化が全国に先駆けて急速かつ同時的に進行
- ・地方における医療政策は、二次医療圏（高梁・新見）を基本とし、県が主導

- ・市の置かれている地勢等の**地域的特性**を踏まえたきめ細やかな対応が必要
- ・市が主体として実施する介護等の領域との連携も必要

- ・市域における最適な医療提供体制検討の必要
⇒ 高梁市人口ビジョンに合わせ、**2025年、2040年に向けた持続可能な体制構築のため、**
 - ① 市内の医療需給等に関する調査分析
 - ② 医療の現状と課題、必要な政策を整理

2 計画の位置づけ

高梁市新総合計画 ～ひと・まち・自然にやさしい高梁～

人口ビジョン・総合戦略

高梁市医療計画

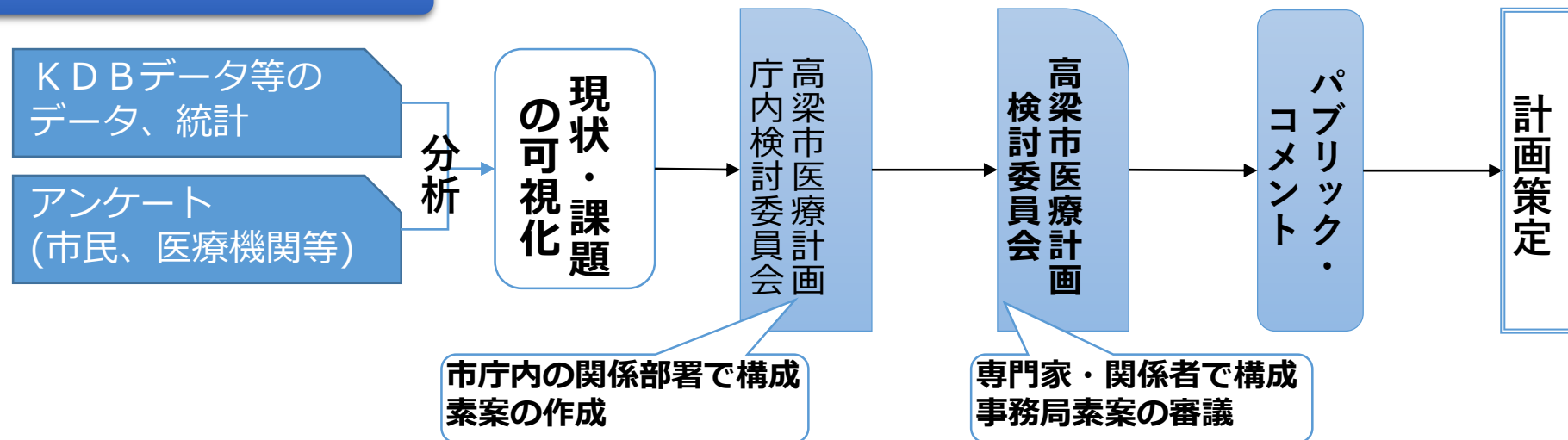
総合計画の政策Ⅲ-3
「地域医療体制の充実を図ります」を具体化

その他部門計画

岡山県保健医療計画
高梁市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
高梁市国民健康保険データヘルス計画
高梁市障害者計画・障害福祉計画
高梁市地域公共交通網形成計画 など

整合・連携

3 計画策定の手順



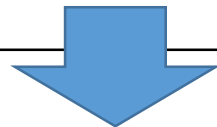
4 計画の構成（案）

1. 計画の基本的事項 計画策定の背景・目的、計画の位置づけ、計画の策定経過
2. 計画の概要 計画の基本方針、施策の方向性、計画の構成
3. 高梁市の医療の現状と課題 人口等の状況、医療需要の状況と将来予測、医療資源の状況と課題
4. 高梁市の医療のあるべき姿を実現するための施策 医療提供体制、人材育成・確保、政策的に取り組む医療関連分野との連携の深化
5. 計画の推進体制と評価の実施 計画の推進体制、計画の評価、計画の期間

5 計画の基本方針（案）

「地域医療とは、まちづくり」

- ・まちのあるべき姿に向かってデータに基づく独自の医療計画を策定・推進し、2025年を目途として、持続可能な医療提供体制を構築することを目指す。
- ・まちづくりと一体となった地域医療施策によって、同様の困難に取り組む全国の中山間地域のモデルとなることを目指す。



「地域医療の高梁モデル構築に向け、4つの基本方針を定める。」

住民の医療需要が変化しても、適切な医療が受けられること

→ 病院間連携・病診間連携 etc

医療従事者が誇りを持って働ける、持続可能な地域医療

→ 人材育成、教育・研修 etc

ライフステージの様々な局面を支える医療の提供

→ 子どもを産み、育てやすい環境の整備 etc

地域での自立した生活を支える基盤強化

→ 介護や健康分野等との連携により、医療の質の向上、
医療の早期介入に取り組む etc